

鎌田玄溪

【かまたげんけい】

( 1 8 1 8 ~ 1 8 9 2 )

備中松山藩士。漢学者。下道郡新本村(現総社市新本)に生まれる。天保一四年(一八四三)には玉島に家塾を開き、この時、川田襲江らが入門している。嘉永六年(一八五三)松山藩が玉島に郷校を設けた時、この教授に

任命された。慶応二年(一八六六)には藩校・有終館の督学となり備中松山に住んだ。廃藩後は隠居して再び世に出ることはなかった。

- 幕末辞典 -